

証券コード：6469



株式
会社 **放電精密** 加工研究所

2021年2月期 第2四半期
決算説明会資料

2020年 10月14日

■ 2021年2月期 第2四半期決算概要

- 本資料のご説明にあたり ……P 3
- 2021年2月期 第2四半期決算概要（連結） ……P 4
- 事業概要 ……P 5
- 新型コロナウイルス感染症の拡大による事業影響 ……P 6
- 2021年2月期 第2四半期セグメント別概要 ……P 7～
- 設備投資・償却費・研究開発費 ……P11
- 連結貸借対照表とC F の状況 ……P12
- 2021年2月期第2四半期の主要施策 ……P13

■ 2021年2月期 通期連結業績予想

- 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響認識 ……P15
- 2021年2月期 通期連結業績予想 ……P16
- 2021年2月期 セグメント別業績予想 ……P17～

■ 2021年2月期 配当予想 ……P21

■ 2022年2月期にむけた活動 ……P22

■ トピックス ……P23～

別紙：2021年2月期 第2四半期決算 補足資料

前期との比較における留意点

■ 子会社ミヤギの合併

2019年6月付けで完全子会社株式会社ミヤギの吸収合併により、
2020年2月期第2四半期から非連結決算による個別業績へ移行

■ 持分法適用会社の株式追加取得による連結子会社化

2020年1月に持分法適用会社であるKYODO DIE -
WORKS(THAILAND)CO.,LTD.の株式追加取得により、
2020年2月期第4四半期から連結決算による連結業績へ移行

【注記】資料内の表記について

20年2月期第2Q = 非連結決算による個別業績、21年2月期第2Q = 連結決算による連結業績

2021年2月期連結業績予想および配当予想の修正について

2020年4月7日公表の予想を2020年7月7日に未定として一旦取り下げていましたが、
2020年10月6日に2021年2月期通期の連結業績予想および配当予想を公表

2021年2月期 第2四半期決算概要(連結)



(単位：百万円/%)

	20年2月期 第2Q実績	21年2月期 第2Q実績	前期差異	前期 構成比	当期 構成比
売上高	5,086	5,502	+415 ※1	100.0	100.0
売上原価	4,181	4,610	+428 ※2	82.2	83.8
売上総利益	904	891	▲12	17.8	16.2
販管費	1,078	1,091	+12	21.2	19.8
営業損失	▲174	▲199	▲25	▲3.4	▲3.6
営業外損益	10	▲18	▲28	0.2	▲0.3
経常損失	▲164	▲217	▲53	▲3.2	▲4.0
特別損益	330	▲9	▲339 ※3	6.5	▲0.2
税金等調整前 四半期純損失	166	▲227	▲393	3.3	▲4.1
法人税等	▲51	81	+132 ※4	▲1.0	1.5
親会社株主に帰属する 四半期純損失	217	▲308	▲526	4.3	▲5.6

※1売上高の主な差異要因

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響での減収
- ・連結子会社化による増収
- ・環境・エネルギー関連等の増収

※2売上原価の主な差異要因

- ・主要事業減収による原価率悪化
- ・連結子会社化による増収に伴う原価高
- ・産業用ガスタービン関連部品の原価改善

※3特別損益の主な差異要因

- ・前期抱合せ株式消滅差益の計上

※4法人税等の主な差異要因

- ・繰延税金資産の取り崩し

- ◆売上高5,502百万 前年同期比8.2%増
- ◆営業損失▲199百万 前年同期比赤字幅拡大
- ◆親会社株主に帰属する四半期純損失▲308百万

放電加工・表面処理

- 航空・宇宙 ~航空機エンジン部品
- 交通・輸送 ~自動車表面処理部品
- 環境・エネルギー ~産業用ガスタービン関連部品



金

型

- 住宅 ~アルミ押出用金型
- 交通・輸送 ~セラミックスハニカム押出用金型



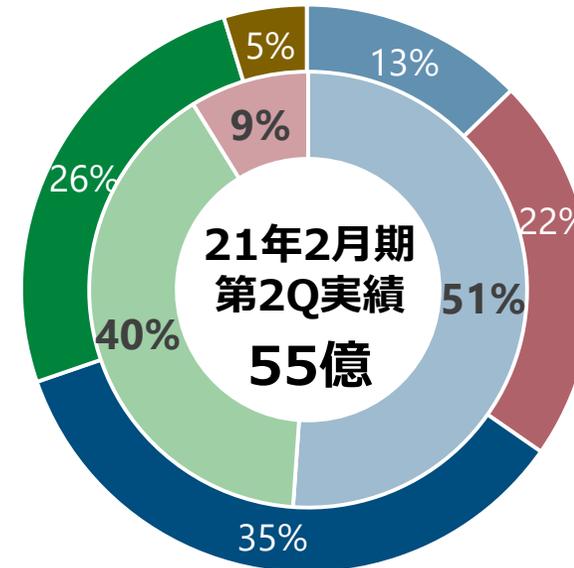
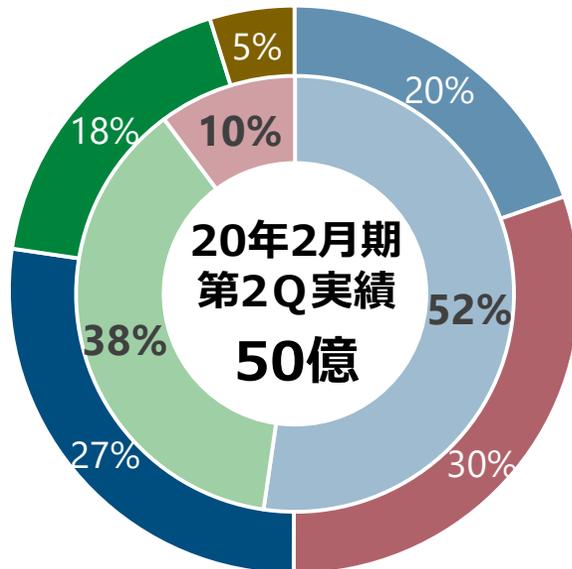
機械装置等

- 機械設備 ~プレス機・プレス付帯設備
- 交通・輸送 ~自動車関連プレス部品



セグメント別売上構成比率（連結）

■ 放電加工・表面処理 ■ 金型 ■ 機械装置等



■ 航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー ■ 住宅 ■ 機械設備

新型コロナウイルス感染症の拡大による事業影響

2021年2月期第2四半期までの当社への影響

■外部環境

事業分野	事象	当社への影響	影響度
航空・宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ■ 渡航規制 ■ 旅客需要の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2四半期より航空機エンジン部品事業が減産 	大
交通・輸送	<ul style="list-style-type: none"> ■ メーカーの工場生産停止 ■ 自動車需要の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車関連部品の表面処理部品が減産 ■ セラミックスハニカム押出用金型の減産 ■ 自動車用プレス加工部品の減産 	大
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動規制により工事延期 ■ 住宅着工件数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アルミ押出用金型の受注が低迷 	中
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 景況感の悪化 ■ 設備投資の抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設備の導入の延期 ■ 投資案件の先送り 	小
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■ インフラ市場への影響は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社への影響はない 	無

■内部状況

生産・調達	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外全拠点において生産活動を継続、調達に大きな問題なし ■ 感染予防策などを打ち、万全な生産体制を構築
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2021年2月期 第2四半期セグメント別概要

(単位：百万円/%)

		20年2月期 第2Q実績	21年2月期 第2Q実績	前期増減	前期比率
売上高	放電加工・表面処理	2,661	2,809	+148	106%
	航空・宇宙	1,002	700	▲302	70%
	交通・輸送	272	184	▲87	68%
	環境・エネルギー	1,386	1,924	+538	139%
営業利益		▲94	▲64	+29	—
売上高	金型	1,907	2,205	+297	116%
	住宅	908	1,410	+501	155%
	交通・輸送	998	795	▲203	80%
営業利益		395	232	▲162	59%
売上高	機械装置等	516	486	▲29	94%
	機械設備	243	256	+12	105%
	交通・輸送	272	230	▲42	85%
営業利益		▲0	82	+82	—
全社費用		▲475	▲450	▲24	95%
全社	売上高	5,086	5,502	+415	108%
	営業利益又は営業損失	▲174	▲199	▲25	—

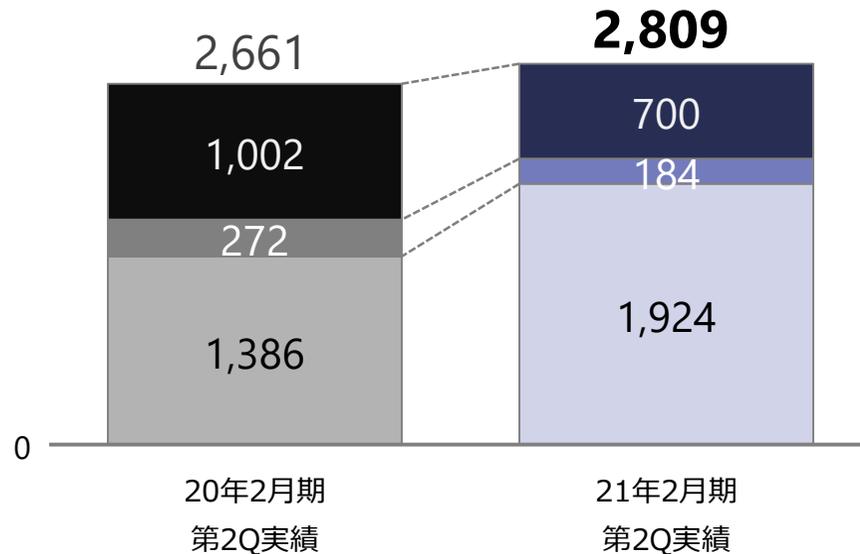
セグメント別詳細：放電加工・表面処理



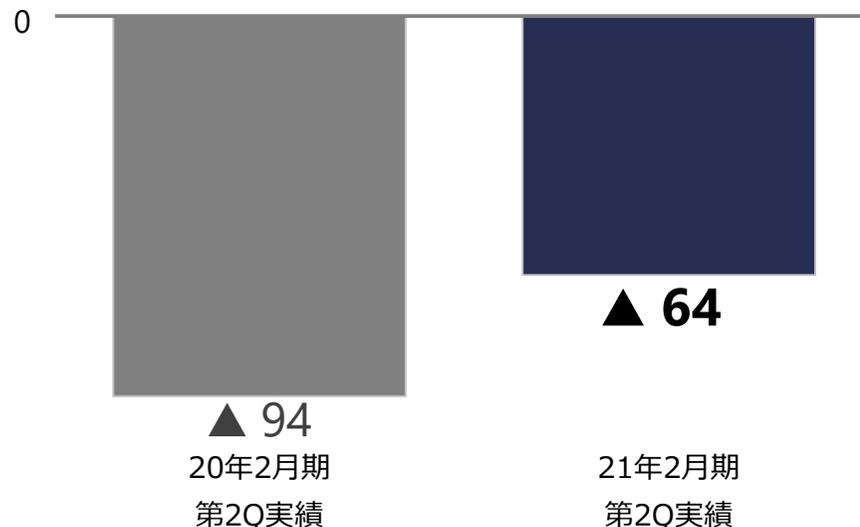
(単位：百万円)

■ 環境・エネルギー ■ 交通・輸送 ■ 航空・宇宙

売上高



営業利益



前期比 増収・増益

売上高：2,661 ⇒ **2,809** (+148)

営業利益：▲94 ⇒ **▲64** (+29)

売上高増減要因（前期比）

■ 航空・宇宙(↓)

旅客需要の低迷によって第2Qより航空機エンジン部品事業が減産の影響を受けて減収。

■ 交通・輸送(↓)

自動車需要減と国内外の自動車メーカーの生産が停止等もあり、自動車関連部品の表面処理部品が減収。

■ 環境・エネルギー(↑)

産業用ガスタービン関連部品と遠心圧縮機関連部品が堅調に推移し、増収。

営業利益増減要因（前期比）

■ (↑)

航空機エンジン部品事業の減収による影響があったが、産業用ガスタービン関連部品の増収効果と工程改善によって収益の改善が図れ、赤字幅を縮小。

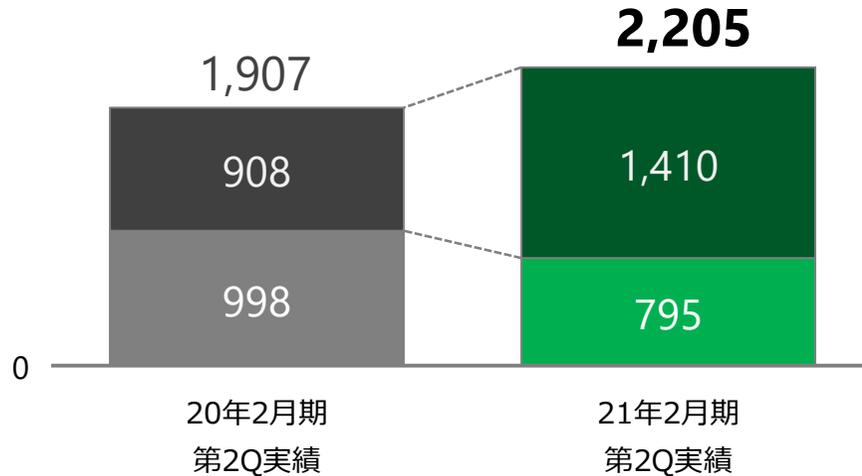
セグメント別詳細：金型



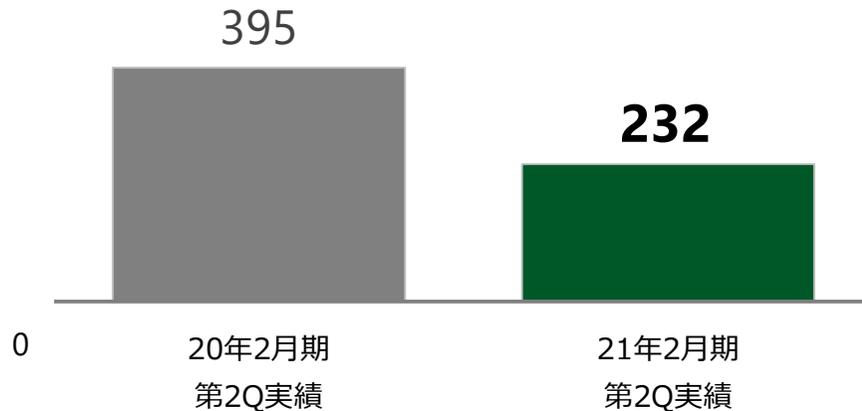
(単位：百万円)

■ 交通・輸送 ■ 住宅

売上高



営業利益



前期比 増収・減益

売上高：1,907 ⇒ **2,205** (+297)

営業利益：395 ⇒ **232** (▲162)

売上高増減要因（前期比）

■ 住宅(↑)

アルミ押出用金型などが減収も、持分法適用会社であったKDTの連結子会社化の効果により増収。

■ 交通・輸送(↓)

自動車需要減と国内外の自動車メーカーの生産停止等もあり、第2Qよりさらに需要減になったことで、セラミックスハニカム押出用金型が減収。

営業利益増減要因（前期比）

■ (↓)

・国内主要事業の減収および社内生産設備購入に関わる費用計上の影響により減益。

※KDT=KYODO DIE - WORKS(THAILAND)CO.,LTD.

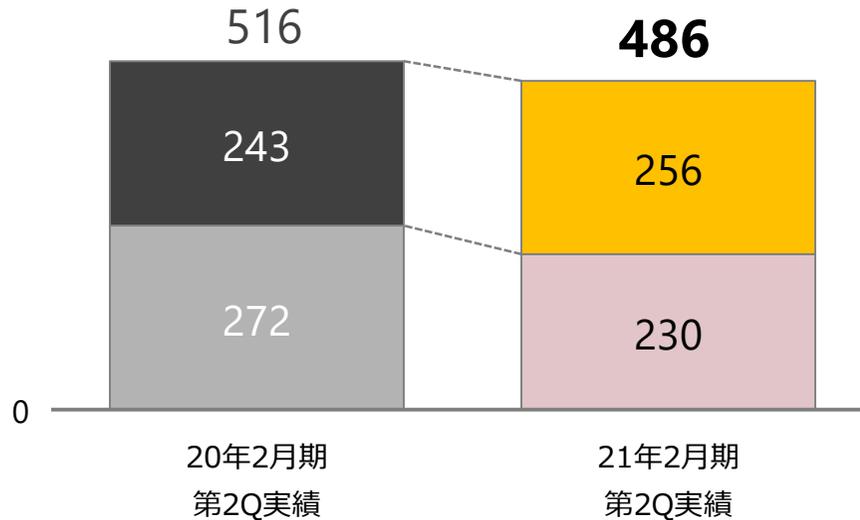
セグメント別詳細：機械装置等



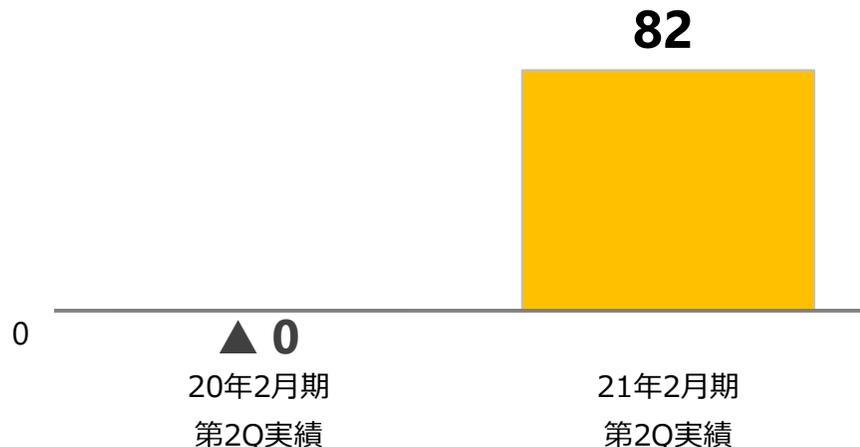
(単位：百万円)

■ 交通・輸送 ■ 機械設備

売上高



営業利益



前期比 減収・増益

売上高： 516 ⇒ 486 (▲ 29)

営業利益： ▲0 ⇒ 82 (+ 82)

売上高増減要因（前期比）

■ 機械設備(↑)

デジタルサーボプレス機は納入の延期により販売減少だが、プレス機器付属設備の増加により、増収。

■ 交通・輸送(↓)

想定以上の生産減や納入の見直しがあり、自動車向けプレス部品が減産によって減収。

営業利益増減要因（前期比）

■ (↑)

減収の影響があったものの、放電加工・表面処理セグメントおよび金型セグメント向けの生産設備の社内販売に伴う利益で増益。

設備投資／減価償却費

◆実施・継続中 ◇一部凍結・抑制

(単位：百万円)

	20年2月期 第2四半期 実績(参考)	21年2月期 第2四半期 実績
設備投資	1,488	1,160
減価償却費	414	541

2021年2月期 主な投資案件

- ◆大和事業所設立と付属設備
- ◇生産体制の効率化・盤石化

研究開発費

(単位：百万円)

	20年2月期 第2四半期 実績(参考)	21年2月期 第2四半期 実績
研究開発費	41	22

2021年2月期 主な研究開発案件

- ◆バイオプラスチック樹脂等成形基礎技術開発
- ◆機能性コーティングの性能向上
- ◆炭素繊維(CFRP/CFRTP等)の成形技術強化
- ◆高機能樹脂の射出成形技術強化
- ◆マルチマテリアル化成形技術向上

※社内リソースの見直しや、設備投資・研究開発費の一時凍結・抑制などの取り組みを進めており、今後の事業環境や需要回復の状況に応じて強化していきます。

貸借対照表

(単位：百万円)

流動資産 6,638 前年比：+416	流動負債 5,144 前年比：+717
固定資産 11,998 前年比：+511	固定負債 6,082 前年比：+740
	純資産 7,410 前年比：▲529

資産の部

負債純資産の部

自己資本比率

2021年2月期第2四半期	: 36.3%
2020年2月期	: 41.0%

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	21年2月期 第2四半期 実績	主な増減要因
現金及び 現金同等物の 期首残高	1,238	
現金及び 現金同等物の 増減額	676	(営業)+425 …減価償却費の増加等 (投資)▲984 …有形固定資産取得等 (財務)+1,255 …借入金の増加等 (その他)▲19
現金及び 現金同等物の 四半期末残高	1,915	

2021年2月期第2四半期の主要施策



コロナ禍において収益体質の改善を最優先課題と捉え、各事業ごとで実施



2021年2月期 通期業績予想

当社が認識している2021年2月期下期以降の外部環境情報

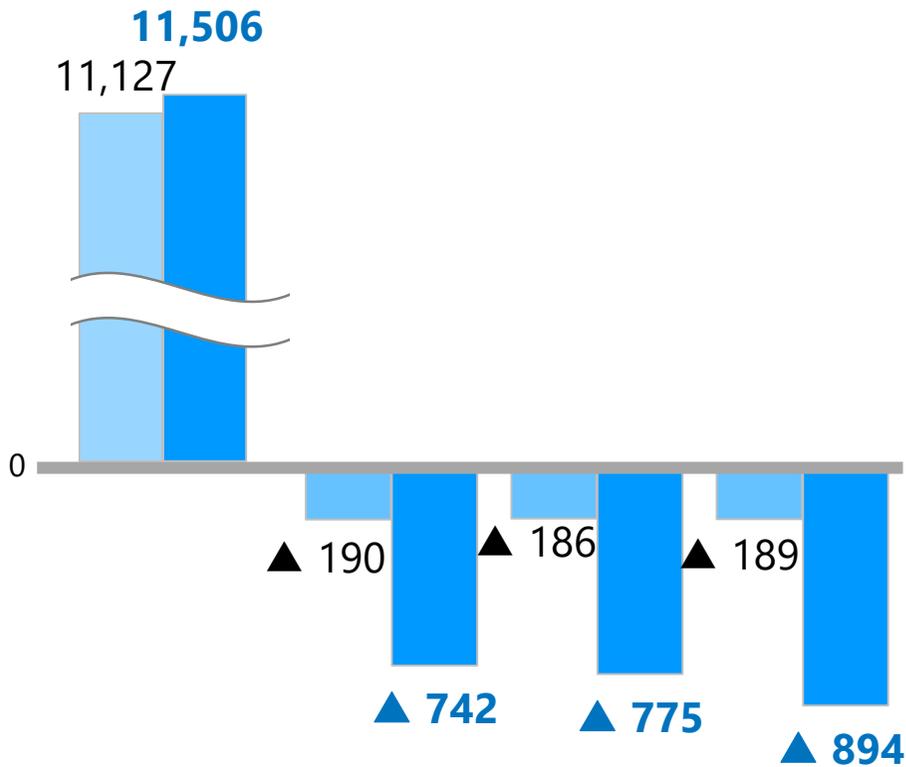
事業分野	当社が認識している外部環境	当社への影響	想定期間
航空・宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航再開も旅客需要の回復には時間を要する ・航空機産業は2024年頃まで回復は難航 	<ul style="list-style-type: none"> ・機体および航空機エンジンメーカーの生産計画見直しによる受注の減少 	中・長期
交通・輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のメーカーの稼働は限定的 ・自動車市場は2021年初頭より徐々に回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な生産の減少と遅延による受注の減少 	短期
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車販売台数の減少 		
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・景気停滞に伴う住宅需要減 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅着工数減少による需要の減少 	短・中期
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> ・景気停滞に伴う設備投資の抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の納入の延期 ・次世代ものづくりの需要への期待 	短期
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ市場への影響は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社への影響はない 	—

2021年2月期 通期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が継続することを想定

(単位：百万円)

■ 20年2月期実績 ■ 21年2月期見通し



売上高 営業利益 経常利益 当期純利益

	20年2月期 実績	21年2月期 見通し	前期差	前期比
売上高	11,127	11,506	+379	+3.4%
営業利益	▲190	▲742	▲551	-
経常利益	▲186	▲775	▲588	-
当期純利益	▲189	▲894	▲704	-

	21年2月期 上期実績	21年2月期 下期見通し	<参考> 20年2月期 上期実績	<参考> 20年2月期 下期実績
売上高	5,502	6,004	5,086	6,041
営業利益	▲199	▲542	▲174	▲15
経常利益	▲217	▲557	▲164	▲22
当期純利益	▲308	▲585	217	▲407

2021年2月期 セグメント別業績予想



(単位：百万円)

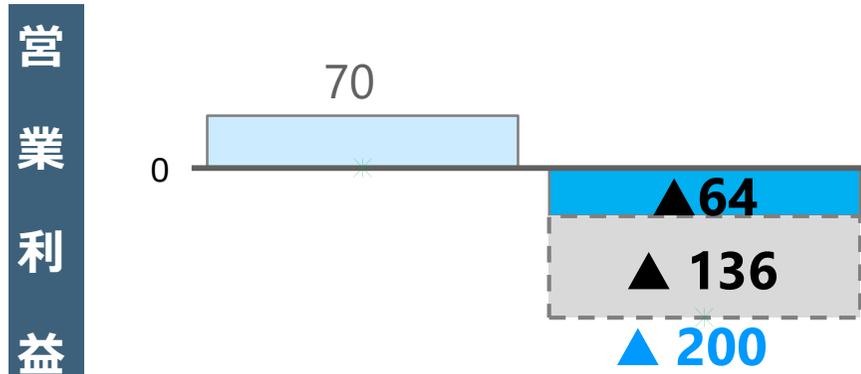
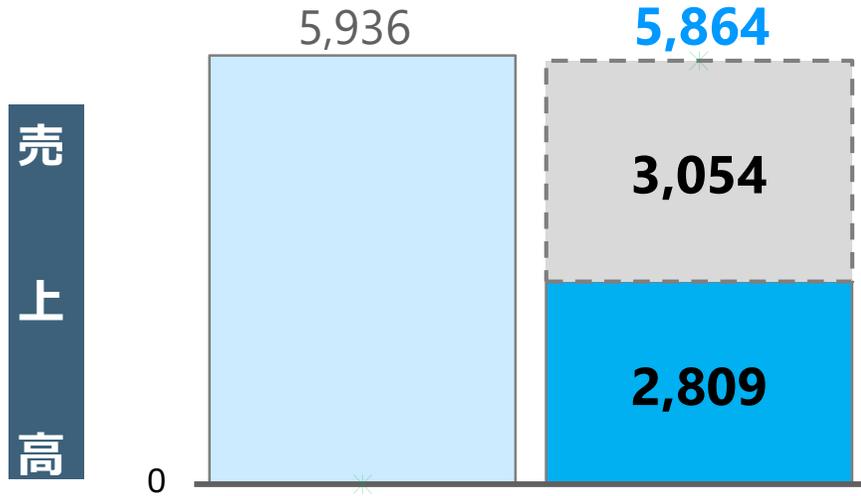
		20年2月期 実績	21年2月期 見通し	前期差 増減	21年2月期 上期実績	21年2月期 下期見通し	上下 増減
売上高	放電加工・表面処理	5,936	5,864	▲72	2,809	3,054	+245
	航空・宇宙	2,060	1,331	▲729	700	631	▲69
	交通・輸送	509	397	▲112	184	212	+28
	環境・エネルギー	3,366	4,135	+769	1,924	2,211	+286
営業利益		70	▲200	▲270	▲64	▲136	▲72
売上高	金型	3,706	3,930	+223	2,205	1,724	▲481
	住宅	1,717	2,716	+998	1,410	1,305	▲104
	交通・輸送	1,988	1,213	▲774	795	418	▲376
営業利益		717	220	▲496	232	▲12	▲244
売上高	機械装置等	1,484	1,711	+227	486	1,224	+738
	機械設備	967	1,251	+284	256	995	+739
	交通・輸送	516	459	▲56	230	229	▲1
営業利益		68	212	+144	82	130	+47
全社費用		▲1,045	▲974	+70	▲450	▲524	▲74
全社	売上高	11,127	11,506	+379	5,502	6,004	+502
	営業利益	▲190	▲742	▲551	▲199	▲542	▲342

セグメント別詳細：放電加工・表面処理



■ 2020年2月期 通期実績
 ■ 2021年2月期 下期見通し
 ■ 2021年2月期 上期実績

(単位：百万円)



通期見通し (前期比 減収・減益)

売上高：5,936 ⇒ **5,864** (▲72)

営業利益：70 ⇒ **▲200** (▲270)

売上高下期予想 (上期対比)

■ (↓) 航空・宇宙

◇ 航空機エンジン部品事業が第2Qより続く減産によって減収

◇ その他航空・宇宙部品は、新しい取り組みで増収

■ (↑) 交通・輸送

◇ 自動車関連部品の表面処理部品は上期並みに推移

■ (↑) 環境・エネルギー

◇ 産業用ガスタービン関連部品と遠心圧縮機関連部品の受注は依然として堅調

営業利益下期予想 (上期対比)

■ (↓)

◇ 環境・エネルギーの産業用ガスタービン関連部品の原価改善をさらに推進する効果を見込み増益

◇ 航空・宇宙の航空機エンジン部品事業の減収により減益

セグメント別詳細：金型

■ 2020年2月期 通期実績
■ 2021年2月期 下期見通し
■ 2021年2月期 上期実績
(単位：百万円)

通期見通し（前期比 増収・減益）

売上高：3,706 ⇒ **3,930** (+ 223)

営業利益：717 ⇒ **220** (▲ 496)

売上高下期予想（上期対比）

■ (↓)住宅関連

- ◇新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で需要の回復が遅れることで減産となることから、アルミ押出用金型が減収
- ◇海外子会社は横這い

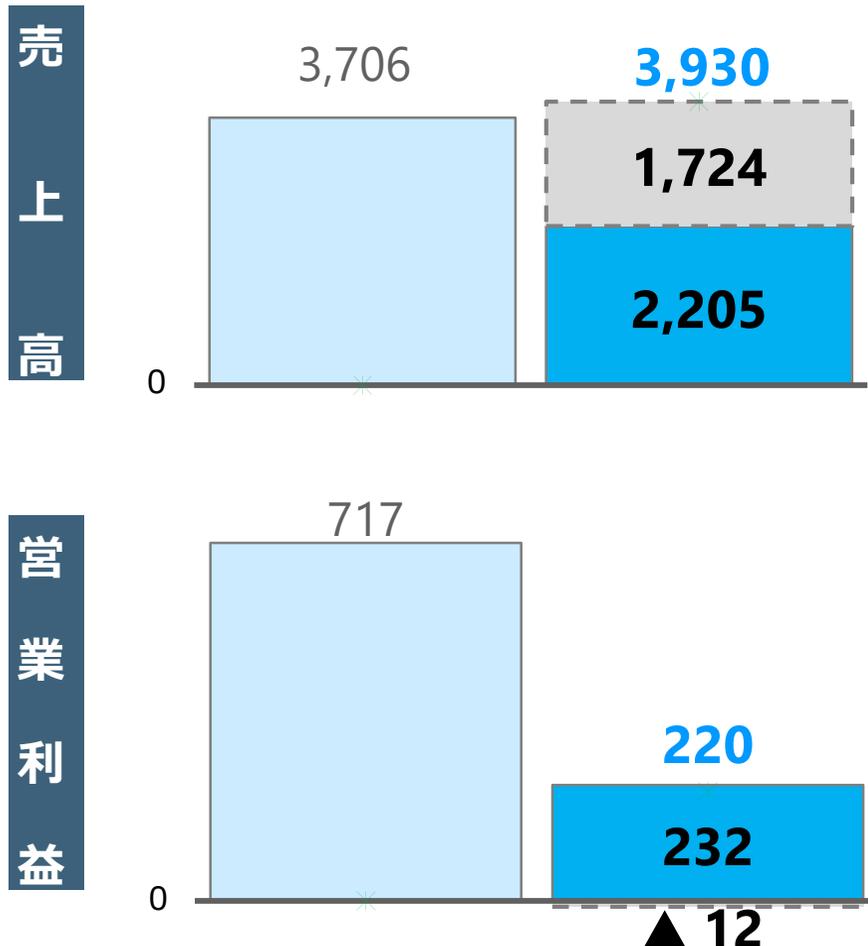
■ (↓)交通・輸送

- ◇新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で市場の落ち込みを勘案し、一時的な受注減でセラミックスハニカム押出用金型が減収

営業利益下期予想（上期対比）

■ (↓)

- 海外子会社の会計方針変更に伴う費用の増加と住宅関連、交通・輸送関連の減収により減益



セグメント別詳細：機械装置等

■ 2020年2月期 通期実績
■ 2021年2月期 下期見通し
■ 2021年2月期 上期実績
(単位：百万円)

通期見通し（前期比 増収・増益）

売上高：1,484 ⇒ **1,711** (+227)

営業利益：68 ⇒ **212** (+144)

売上高下期予想（上期対比）

■ (↑) 機械設備

- ◇ プレス機の引き合い案件が順調に進捗
- ◇ プレス金型・付帯設備も下期で緩やかな回復の兆し

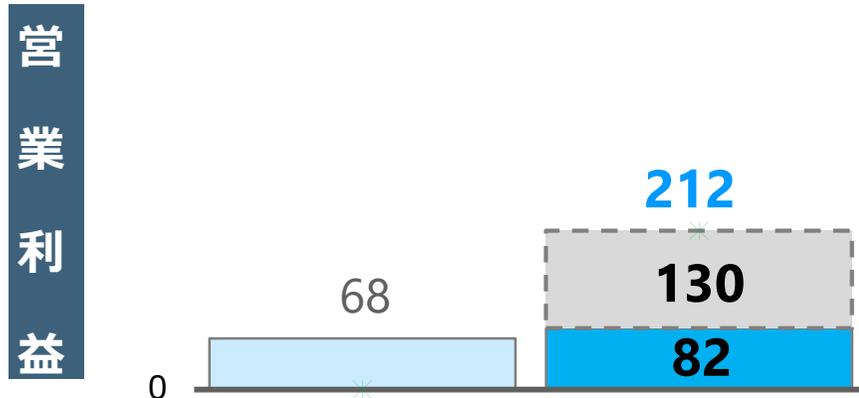
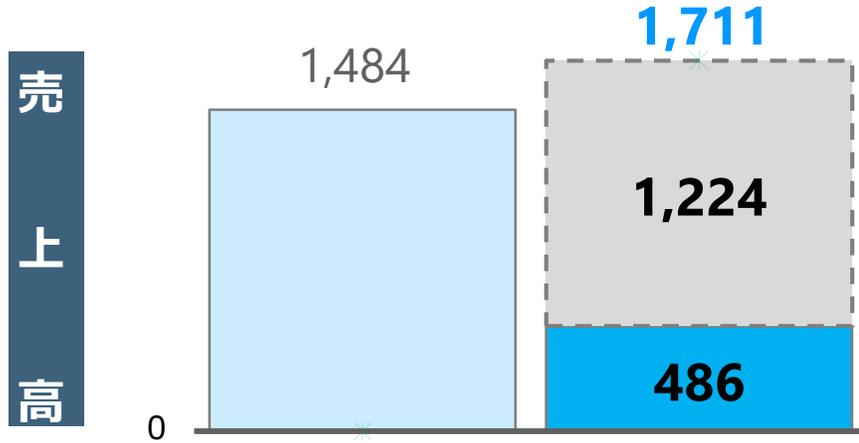
■ (→) 交通・輸送

- ◇ 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で需要の回復が遅れることから横這いで推移

営業利益下期予想（上期対比）

■ (↑)

プレス機販売を中心とした増収による効果



■ 1株当たり配当金

	期末
今回修正予想 2020年10月6日公表 業績予想	無配

当社は、株主への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、現在及び今後の事業収益をベースに将来の事業展開や経営体質の強化のために、必要な内部留保資金の確保などを勘案し、配当性向30%を一つの目安として、継続的かつ安定的な利益還元を基本方針としております。

期末配当予想につきましては、当期は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響によって、当期純損失を計上する見通しである中で、安定的な配当水準を継続する基本方針に変更はないものの、新型コロナウイルス感染症拡大の収束する時期が不透明であるため、手元流動性などを鑑みて期末配当予想を無配とさせていただきます。予定であります。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年2月期にむけた活動

アフターコロナを見据え、収益力強化を前提とした筋肉質な体制へ



基本方針	主な活動の内容
営業力の強化	● 営業活動の抜本的な改革
収益性の改善・向上	● 筋肉質な費用構造に向けた抜本的な固定費の削減 ● 不採算・低採算事業の抜本的な見直し
開発・生産体制の最適化	● 研究開発および投資の厳選・延伸 ● 拠点の操業度向上/生産体制の適正化による生産性改善

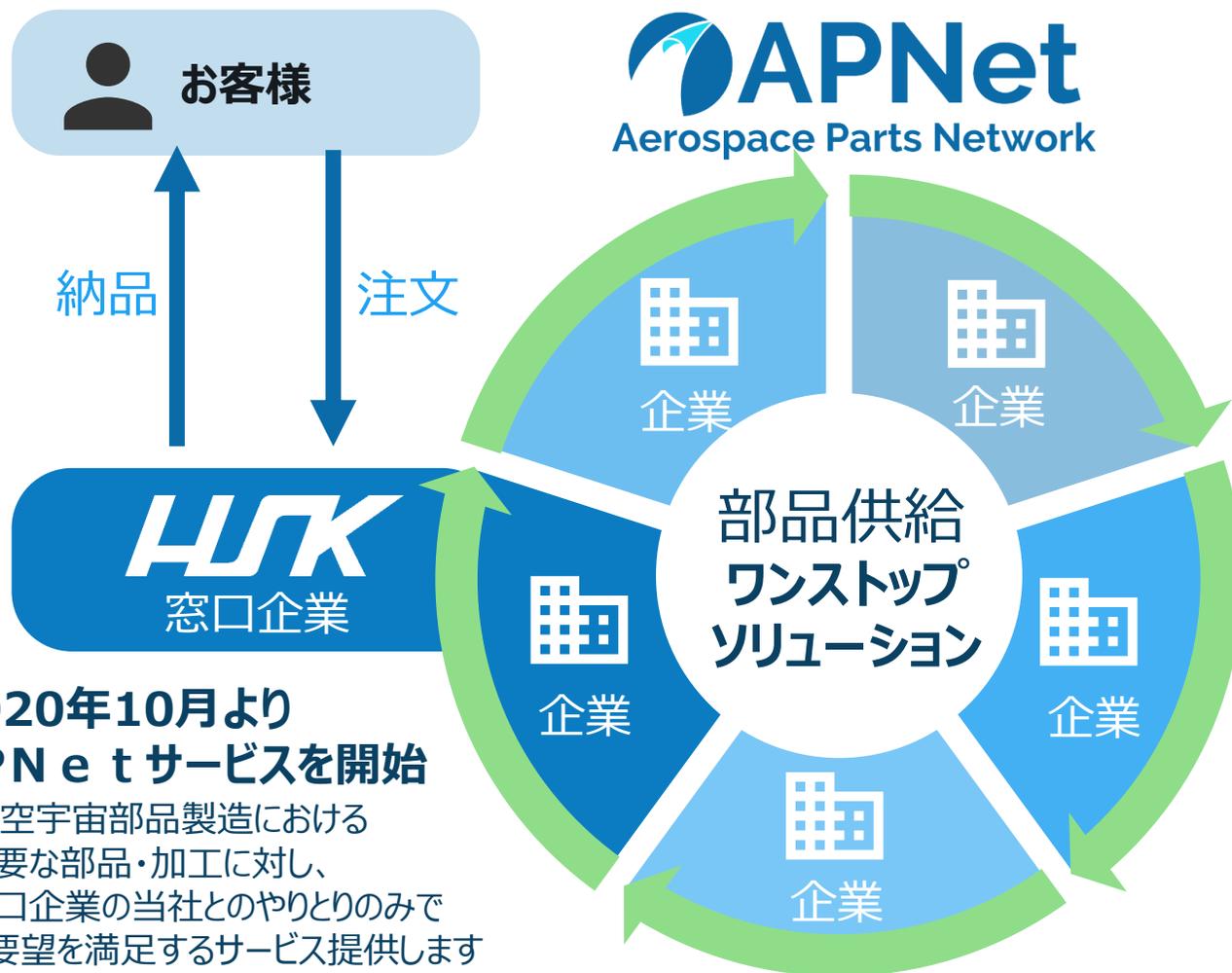
※上記施策に関わる影響額等は2021年2月期の業績予想へ反映しておりません。

トピックス

APNetサービスを2020年10月より開始



航空宇宙部品製造ネットワーク APNetサービスのビジネスモデル



APNetサービス参加企業(順不同)

- 株式会社アイ・シー・エス
- 株式会社真功社
- 玉川工業株式会社
- 熱田起業株式会社
- 株式会社小坂鉄工所
- 旭金属工業株式会社
- 株式会社磯村製作所
- 明光工業株式会社
- 伊藤鉄工株式会社
- 有限会社名南機械製作所
- 工ヌティー精密株式会社
- 株式会社瑞木製作所
- 瑞浪精機株式会社
- 平和産業株式会社
- 株式会社天木鉄工
- マツダ化工株式会社
- 株式会社松浦
- 株式会社山川機械製作所
- 多摩川パーツマニュファクチャリング株式会社

※2020年10月12日現在19社が参画

2020年10月より APNetサービスを開始

航空宇宙部品製造における
必要な部品・加工に対し、
窓口企業の当社とのやりとりのみで
ご要望を満足するサービス提供します



航空機
エンジン部品

- 低圧タービンブレード
- 圧縮機燃焼器部品

航空・宇宙
その他部品



航空機器
機体部品



ロケット
エンジン部品

検査資格取得支援
非破壊検査
アカデミー

従来まで受託加工

APNetサービスで部品供給を実現

航空機エンジン部品を主力に航空・宇宙部品メーカーにむけて着実に前進



2024年まで航空機市場は厳しいが航空宇宙分野で培った生産技術と品質保証技術を他の事業にも展開し、新たな価値を提供するとともに航空・宇宙部品メーカーとしての地位確立を目指す

次世代モノづくりを支援する共創サービス ZENFormer Sharing Service

目的 最新設備・稀少設備を購入する時代から利用する時代にむけて

新素材による新商品の開発支援	新素材による開発を進めたいが、身近に開発機を確保できない顧客を支援。稀少設備を日時単位でご利用いただくことで初期投資の軽減と研究開発を促進。
加工現象のデジタル化・可視化支援	サーボプレスとクラウドをリアルタイムにつなぎビックデータを取得できる環境を用意。加工現象の可視化を産学官いずれの研究者も手軽に利用できる環境の提供。
量産実証までのプロセスを支援	難易度の高い部品を高精度サーボプレスにて量産化まで支援。量産体制における品質管理・維持管理へのDX導入を支援。

内容

1 場所・設備のシェアリング

当社の大和事業所でZENFormerを日時単位でご利用することが可能

2 設備・人のシェアリング

当社技術員の操作でオンラインによるZENFormerをご利用することが可能



■ シェアリングモデル

- ① ZENFormer nano(加圧能力：30t)
弊社開発のIoT可視化標準金型を利用することでプレス・金型・材料のデジタル化・可視化を実現
- ② ZENFormer torque (加圧能力：200t)
Heat&Cool 温調システム (GMS) を付加しており、CFRTP等の複合材やマルチマテリアルの成形に最適
- ③ ZENFormer(加圧能力：1000t)
大型サーボプレス×複動機構によって、高精度燃料電池セパレーターなど新発想でのモノづくりを実現

事業集約による新拠点



新サービス



営業リソースの集中
オンライン商談強化



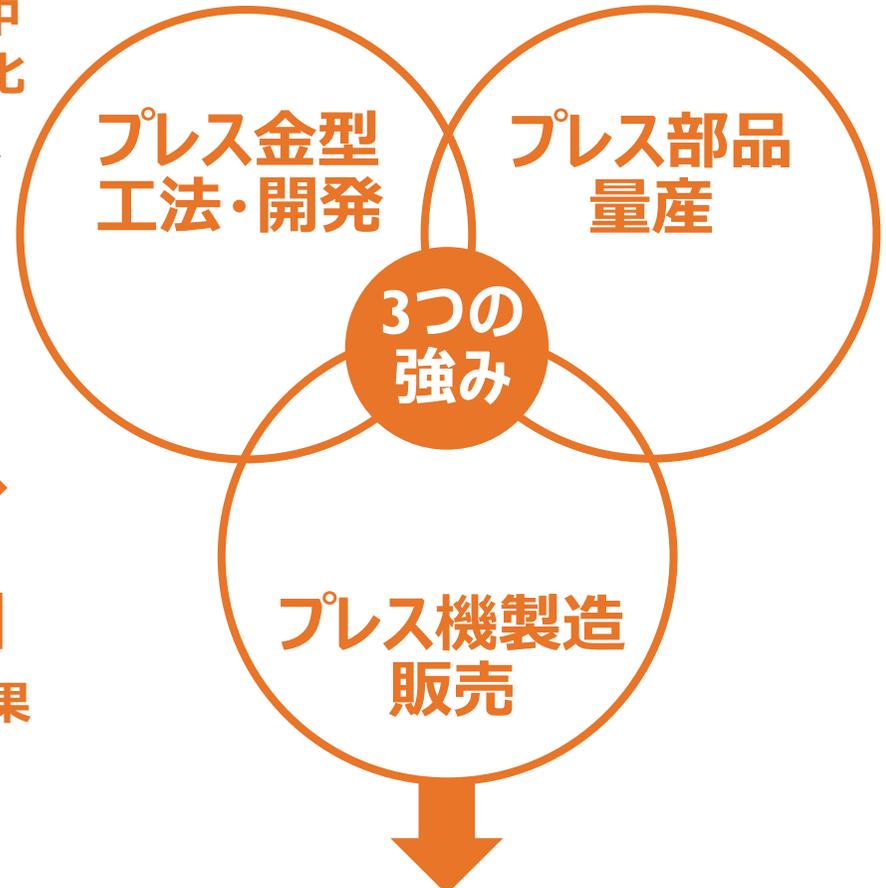
シェアリングの成果



サービスで得た成果



従来サービス



三菱UFJリース株式会社と協業の検討開始

サーボプレス機のシェアリングサービスやレンタル契約、中古機の再販事業等、
出口戦略を見据えたサーボプレス機を活用した新たなビジネスモデル構築の検討開始。

みんなの「知らない」をカタチにする

HJK 株式会社 **放電精密** 加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載が記述があります。
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。